

中学校第1学年 音楽科 学習指導案

期 日 平成25年10月11日(金) 第5校時

場 所 錦町立錦中学校 音楽室

指導者 教諭 村田 憲昭

- 1 題材名 「郷土の民謡に親しもう」
教材 「球磨のよしん坊」

2 題材について

(1) 題材観

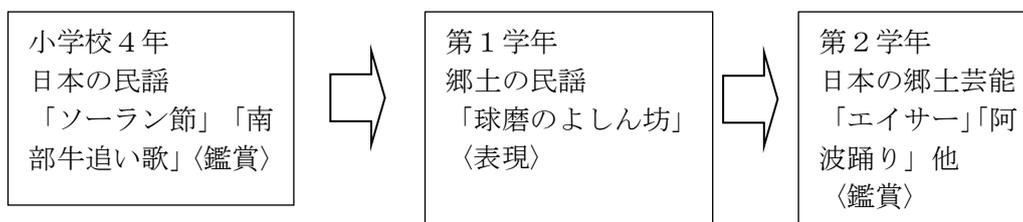
本題材は、民謡との出会いを通して我が国の伝統文化に対する興味・関心を高めるとともに、その味わいや特性をとらえさせることをねらいとしている。学習指導要領のA表現の内容における(1)ア「歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと」及び、イ「曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと」に関する学習内容である。

民謡は、労働や風習など生活の中から生まれ、人々の暮らしを支えてきた音楽であり、今の時代にも大切に受け継がれていることに大きな価値がある。しかし、生徒が日頃親しんでいる音楽とは音色や旋律、拍などが異なっており、触れる機会も少ない。この現状を踏まえ、生徒たちのふるさとに伝わる民謡について知り、発声や民謡特有の節回しなどを工夫して唄う活動や、民謡が生まれた背景を理解する活動を通して、民謡に親しみながら、これまで受け継いできた先人たちの思いに気付き、尊重しようとする態度を育成したい。

教材「球磨のよしん坊」は、農業の労働から生まれた唄で、人吉・球磨地方に伝わる田草取り唄である。また、平成25年3月に、人吉教育委員会によりCD化された民謡の中の1曲として所収されている。曲の特徴としては無理がない音程でリズムも平易であり、中学1年生が、民謡特有の発声や節回しを体験することに適している。

そのための手だてとして、実際に歌唱活動の中で感じ取ったことを表現につなげ、民謡の持つよさを体感させたい。

(2) 系統観(郷土や日本の民謡及び郷土芸能について)



(3) 生徒観(男子17名、女子19名)

男女ともにしっかりと歌唱活動ができる。互いに助言し協力して活動をすることができる。クラスの雰囲気も明るく、歌唱活動や鑑賞活動に友達と協力して活動することなど、まじめに活動する生徒が多い。しかし、鑑賞活動では集中して音楽を鑑賞することができるが、鑑賞した後の感想や感じたことを言葉で表現することが苦手な生徒もいる。

事前のアンケートについての結果は、次のとおりである。(調査人数36人：実施時期6月中旬)

4：思う	3：どちらかといえば思う	2：どちらかといえば思わない	1：思わない
------	--------------	----------------	--------

◎授業で歌を歌うときに、曲の背景(作者の思い、どこでだれが、どんなときに歌っていたのかなど)を知ることは大切だと思いますか。

(4：10人 3：18人 2：5人 1：3人)

◎授業で歌を歌うとき、その曲に合った発声や声の音色を工夫していますか。

(4：9人 3：18人 2：8人 1：1人)

◎音楽を聴いて、その音楽のよさや演奏のよさを言葉で表そうとしていますか。

(4：7人 3：21人 2：5人 1：3人)

◎授業でどう歌おうか考えるときに、自分の考えを友達や先生に伝えようとしていますか。

(4 : 4人 3 : 15人 2 : 12人 1 : 5人)

◎音楽の授業で歌うときに歌詞の内容を考え、気持ちを込めて歌うようにしていると思いますか。

(4 : 10人 3 : 17人 2 : 7人 1 : 2人)

◎音楽の授業で歌うとき、曲の雰囲気と結び付けて、声の音色や強弱などの歌い方を工夫していますか。(4 : 8人 3 : 19人 2 : 7人 1 : 2人)

【音楽全般に関する意識調査】

◎あなたはどのジャンルの音楽が好きですか。

歌謡曲	20人	クラシック	18人	ロック	13人
演歌	2人	民謡	0人	その他	6人 (k-pop 他)

その音楽が好きな理由としては、歌詞が好き、メロディーが好き、リズムののりがいい、演奏者が好き、聴いていて感動する、聴いていて落ち着くなどの理由であった。

【郷土の音楽に関する意識調査】

◎「郷土」に伝わる民謡や芸能を知りたいと思いますか。

ア	ぜひ知りたい	10人	イ	どちらかといえば知りたい	15人
ウ	あまり知りたくない	4人	エ	全く知りたくない	5人
オ	その他	1人			

◎「郷土」に伝わる民謡や芸能を歌ったり弾いたりしたいと思いますか。

ア	ぜひ歌ったり弾いたりしたい	3人	イ	どちらかといえば演奏したい	17人
ウ	あまり演奏したくない	9人	エ	全く演奏したくない	6人
オ	その他	0人			

(4) 指導観

以上の調査から、生徒は、どちらかといえば音楽表現を創意工夫しようとしているが、全く意識していない生徒も少なくないことが分かった。また、民謡について、好んでいる生徒はいないものの、郷土の民謡は、知りたい、演奏してみたいと思っている生徒もいる。このことから生徒が興味を持つような体験活動が必要ではないかと考える。

○地元で伝わる民謡の鑑賞を通して、時代背景や当時の生活を想像させ、それを表現する歌手の表現の豊かさを味わわせたい。

○本物の民謡に触れさせることにより、西洋音楽との違いに気付かせ、学習形態を工夫し、グループごとの表現活動をする中で、民謡のよさや味わいを感じ取らせたい。

【視点1】

思考力・判断力・表現力等の育成

【視点1】 本題材で目指す豊かなかわり合いのある授業とは、学習課題に対して、教師が教え込むのではなく、適切な教師の支援のもと、生徒が自らが互いに課題を追求していく学習である。具体的には、学習過程「分析」の場面で、民謡の歌い方を学習シートに書き込んだり、聴いたり、歌ったりしながら歌い方を探っていく。また、地域の演奏家の民謡の伝授も豊かなかわり合いにつなげていく。

【視点2】

学習評価と指導の改善

【視点2】 本題材で目指す思考の過程を評価できる授業づくりのために、パフォーマンス課題によって思考・判断・表現した学力をルーブリックなど使うことによって解釈するパフォーマンス評価を用いる。具体的には、授業中の活動の観察と、アセスメントシートの記入を基に評価する。

【視点3】

情報活用能力の育成

【視点3】 主体的な情報活用を促す授業づくりのために、郷土の民謡の歌詞の意味を地域の歴史的な背景と関わらせて示す。その手段として、情報を視覚的に伝えるために、ICT 機器等の教具を活用する。

3 題材の目標と評価規準

題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統的な歌唱である民謡を通じた歌唱活動に意欲的に取り組む。 音楽表現の豊かさを感じ取り、民謡の特徴を生かした音楽表現をするための演奏を工夫する。
音楽への関心・意欲・態度	歌詞が表す情景や心情及び曲想に関心をもち、郷土の民謡のよさを感じながら唄うことに主体的に取り組んでいる。
音楽表現の創意工夫	郷土の民謡の特徴や発声の多様性を感じ取り、曲にふさわしい発声や節回しなど歌唱表現を工夫し、どのように唄うかについて思いや意図をもっている。
音楽表現の技能	郷土の民謡の特徴を表現するための技能を身に付けて唄っている。

4 指導・評価の計画（4時間取扱い 検証授業Ⅰ 1/2, 検証授業Ⅱ 2/2）

時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 【三つの視点から】	評価の観点（評価方法） B基準
1 検証 Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に伝わる「球磨のよしん坊」の歌を知る。 グループに分かれ、曲の旋律やリズムの特徴をつかむ。 歌詞にまつわる曲の背景を聞いて唄う。 	<p>【視点3】熊本の代表的な民謡を視聴させることで、民謡に対する関心を高める手だてとする。</p> <p>【視点1】グループごとにパソコンを用いて練習することで、生徒の主体的な学び合いにつなげる。</p> <p>【視点3】また、ICT機器を用いて曲の背景を伝えることで郷土の民謡のよさに気付く手立てとする。</p>	<p>音楽への関心・意欲・態度（観察・学習シート）</p> <p>郷土の民謡の曲の背景を知り唄う活動を通して、民謡のよさに気付き、主体的に唄っている。また学習シートに授業で得た情報を踏まえた感想が記入できている。</p>
2 検証 Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーの唄を聴き、発声や節回しの特徴を感じ取る。 グループごとに発声や節回しなど、気付いた表現の特徴を学習シートに書き込み練習する。 グループごとに発表し、工夫できているか気付きを述べ合う。 指導者の唄とともに唄う。 	<p>【視点1】民謡の特徴をゲストティーチャーと関わりながら探っていく。</p> <p>【視点2】民謡独特の発声法と通常行っている歌唱法との違いに気付かせる。</p> <p>【視点2】パフォーマンス課題の設定により、民謡の特徴を生徒自身で見つけ、そのことをもとに表現を工夫する活動へとつなげる。</p>	<p>音楽表現の創意工夫（観察・アセスメントシート）</p> <p>「球磨のよしん坊」の曲の特徴をアセスメントシートに記入し、その特徴を表現に生かそうとしている。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> 伴奏CDに合わせて「球磨のよしん坊」発表会を行う。 グループごと（2番はグループの代表者） 篠笛と太鼓の伴奏を加えて全員で唄う。 	<p>【視点1】「錦町民謡フェスティバル」と題して、前時に工夫した民謡の特徴を大事にして発表し合う。またその際、感想を伝え合わせることで、技術の向上につなげるようにする。</p>	<p>音楽表現の技能（発表）</p> <p>民謡の特徴に気付き、その特徴を生かした唄い方ができる。</p>

5 検証授業Ⅰの学習（第1時）

(1) 目標：郷土に伝わる民謡や、曲の背景を知り、民謡のよさに気付いて主体的に唄うことができる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 【三つの視点から】	備考
経験 7分	1 熊本の民謡を鑑賞する。	○みんなが知っているような民謡はありましたか。実は錦町にも民謡が残っています。	【視点3】熊本の代表的な民謡を鑑賞することで意欲を高める手だてとする。 ○自分の故郷にも民謡が残っていることを知り、興味を持たせ、練習意欲につなげる。	DVD
	球磨人吉の民謡に初チャレンジしてみよう。			楽譜
分析 25分	3 「よしん坊」を教師がパソコンに合わせて範唱する	○錦町に伝わる民謡「よしん坊」を唄歌えるようになる。	【視点3】教師は自然な声で楽譜通りに唄うことで、生徒が聴唱しやすいようにする。その後、音程を聴取するために、パソコンから出る音に合わせ唄わせるようにする。 【視点1】パソコンの画面の楽譜を見て、唄いにくい部分をお互いで確認しながら練習が進むように、各グループにパソコンを用意する。	ノート パソコン9台
	4 グループに分かれて歌唱を練習する。	○グループで歌ってみよう。		プロジェクター スクリーン
再経験 15分	5 曲にまつわる話を聞いて、唄う。	○歌詞にまつわる話を聞こう。 ○民謡を自分たちの郷土の民謡として唄ってみよう。	【視点3】歌詞に着目しながら錦町の写真や、地域に伝わる話を教える。 評価：音楽への関心・意欲・態度（練習の観察、アセスメントシート） 【B基準】 郷土の民謡の曲の背景を知り唄う活動を通して、民謡のよさに気づき、主体的に唄っている。また学習シートに授業で得た情報をふまえた感想が記入できている。	学習シート
評価 3分	6 学習シートに本時の感想と、今後の課題を書く。	○次は、この民謡をもっとうまく唄うために唄い方の工夫をしていきます。次の目標や今日の授業での気づきを書いてください。	【A基準】 郷土の民謡や曲の背景を知ることによって民謡のよさに気づき、主体的に唄っている。また学習シートに授業で得た情報を踏まえた感想が記入できている。 〈B基準に達しない生徒への手立て〉グループ練習で変声期などの事情により、音程が分からないために練習に参加できない場合は、個別に対応していく。 ○それぞれが関心を持ち抱いた課題を次の授業へとつなげていくようにする。	

6 検証授業Ⅱの学習（第2時）

(1) 目標：民謡の特徴的な発声や節回しなど，演奏方法の特徴を感じ取り，「球磨のよしん坊」にふさわしい唄い方を工夫する。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 【三つの視点から】	備考
経験 10分	1 前時練習した「球磨のよしん坊」を唄う。	○前の授業で練習した「球磨のよしん坊」をみんなで唄いましょう。	○郷土の民謡であること，自分たちが抱いた思いを確認しながら全員で唄う。	パソコン
	2 ゲストティーチャーの歌を聴く。 (1回目)	○今日は球磨人吉で民謡を指導していらっしゃるゲストをご紹介します。ゲストの唄を聴いてみんなの唄との違いを見付けて	【視点1】民謡の魅力にしっかりと触れさせるためにじっくり鑑賞させ，どんなところに興味を持ったかを押さえる。	
分析 15分	3 目標を確認する。	みよう。		
	郷土の民謡を伝える唄い手になり，歌唱表現に磨きをかけよう			
	あなたは，人吉・球磨の民謡を唄い継ぐ唄い手です。自分たちの唄とゲストティーチャーの唄の違いを見つけ，楽譜に書き込もう。 そして，書き込んだものを基にしながら，ゲストティーチャーの「球磨のよしん坊」の唄い方をまねて唄ってみよう。			
	4 民謡の特徴を見つけて楽譜に書き込む。	○その部分を囲み，楽譜に書き込もう。	【視点2】ゲストティーチャーによる特徴を目立たせた曲の一部を聴かせる。その際は自分たちの唄と何が違うのかを意識させながら鑑賞させる。	アセスメントシート
	5 グループで唄の練習をする。	○書き込んだ楽譜を見ながらゲストティーチャーの唄を真似して唄ってみよう。	・模範演奏の動画を用いて，違いを探る手だてとする。細部にわたってはゲストティーチャーにたずねるようにする。	
再経験 15分	6 グループごとに発表をする。	○グループごとに一工夫した唄を発表しましょう。発表を聴いたら感想を言いましょう。	・互いの表現をしっかり聴き，参考になるポイントを探させる。 【視点1，2】ゲストティーチャーと共演し，民謡の特徴を体感することで，気付きを高める手だてとする。	
	7 全員で唄う。	○今日の気付きを生かして，ゲストの方と一緒に民謡のよさを味わいながら唄いましょう。	評価：音楽表現の創意工夫 (練習の観察，アセスメントシート) B基準 「球磨のよしん坊」の曲の特徴をアセスメントシートに記入し，その特徴を表現に生かそうとしている。	
評価 10分	8 アセスメントシートに民謡の特徴やよさについて気付いたことをまとめる。	○工夫する前と後の違いについて感じたことを書きましょう。	A基準 「球磨のよしん坊」の曲の特徴をアセスメントシートに具体的に記入し，その特徴をうまく表現に生かそうとしている。 (B基準に達しない生徒への手立て) 個人やグループで記入する際に個別の支援カードを示す。	

